

麻原死刑囚 刑執行



麻原彰晃死刑囚

オウム真理教教祖 サリン事件など 複数幹部も

地下鉄、松本両サリン事件などオウム真理教による一連の犯行を首謀したとして、殺人などの罪に問われ、死刑が確定した麻原彰晃死刑囚(六三)と本名松本智津夫と複数幹部の刑が東京拘置所などで執行されたことが六日、関係者への取材で分かった。上川陽子法相が命令した。

一九九五年五月の逮捕から二十三年。犯罪史上類を見ない数々の凄惨な事件を首謀した教団トップは一審途中から沈黙し、事件の詳細を語ることはないままの執行となった。確定判決によると、麻原死刑囚はほかの教団幹部らと共に、八九年十一月の坂本堤弁護士一家三人殺害事件、九四年六月の松本サリン事件、九五年三月の地下鉄サリン事件を起こした。

公証役場事務長監禁致死事件なども含め十三事件に関与し、判決で認定された死者は計二十七人。起訴後の死亡者などを含めた犠牲者は二十九人に上り、警察庁のまとめによると約六千五百人が重軽傷を負った。

